

報道発表資料

相談解決のためのテストからNo. 131

平成31年3月14日
独立行政法人国民生活センター

消費生活センター等の依頼に基づいて実施した商品テスト結果をご紹介します。

遮光等級が店頭表示と異なった遮光カーテン

1. 依頼内容

「遮光2級と言われて購入したカーテンを使用したところ、部屋の中に光が入り、明るく感じる。性能に問題がないか調べてほしい。」という依頼を受けました。

2. 調査

当該品は、オーダーメイドで購入した小窓用の遮光カーテン（幅 83cm×長さ 135cm）です。相談者によると、当該品は店頭において「遮光 2 級^(注1)」と表示され販売されていました。相談者は当該品を購入し部屋に取り付けたところ、曇った日でも部屋が明るい状態で光をよく通したため、性能に疑問をもったとのことでした。

当該品について、照度計を用いて^(注2) 遮光率の測定を行ったところ、遮光率は 99.60%で、これは、遮光 3 級に該当しました（表）。

(注1) 一般社団法人日本インテリアファブリックス協会（NIF）が定めるカーテンの遮光等級

(注2) JIS L 1055 「カーテンの遮光性試験方法」A 法による測定

表. 遮光カーテンの判定基準^(注3)

等級	1 級	2 級	3 級
遮光率	99.99%以上	99.80%以上 99.99%未満	99.40%以上 99.80%未満
照度に関する 状態表現	人の顔の表情が 識別できないレベル	人の顔あるいは 表情がわかるレベル	人の表情はわかるが 事務作業には暗いレベル

(注3) 一般社団法人日本インテリアファブリックス協会（NIF）ホームページより
(http://nif.or.jp/mark/images/performance_01_2013.pdf)
なお、NIF から認可を受けている遮光 3 級以上の商品については、機能性表示マークとして遮光マーク（右図参照）を表示することができます。



(参考)

3. 解決内容等

依頼センターよりテスト結果を事業者に説明したところ、相談者に購入金額が返金されました。また、当該品の販売を中止するとのことでした。

遮光カーテンを購入する際には、NIFから認可されていることを証明する遮光マークの有無を確認し、商品を選ぶのも良いでしょう。

本件問い合わせ先

商品テスト部：042-758-3165